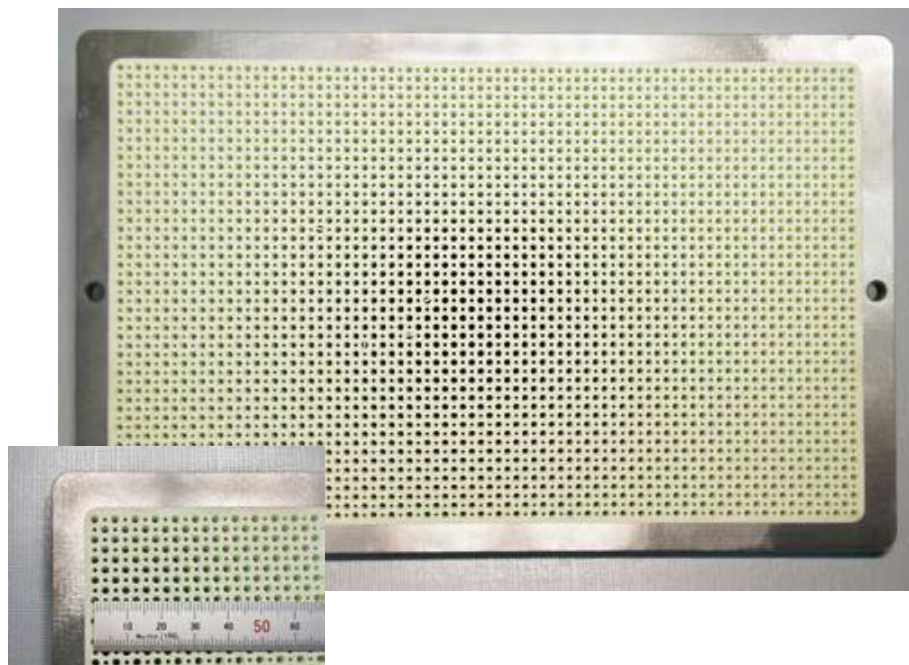


長谷川精機 株式会社

高精度・高品質を約束
金属切削から組立完成まで

海外発注可
納期相談
企画力有
自信コスト相
×代小
×代小
×代小
×代小
×代小
×代小
×代小



ゴムとアルミの一体成型プレート

業務内容

24時間稼働技術でつくり
上げる金属切削加工部品

建設機械等の油圧空圧配管用金属、エアコン等の家電製品、半導体の製造装置等、あらゆる分野で使われる金属切削部品を提供する長谷川精機。大量生産から多品種小ロットへとニーズが移行した時代の変化に応え、自社製作の工作機械利用から汎用工作機械の活用により切り替え、設備投資を積極的に行ってきた。

同社の工場は、周囲に民家がなく中小のものづくり企業が集まる枚方工業団地内。この立地を活かし、24時間稼働技術で工作機械の6割を制御し、生産性を上げていく。



強み

生命線は汎用機械の「使いこなし力」

最新の汎用工作機械を使うだけで他社との差別化が図れるほど、金属切削加工は容易なものではない。そこで同社は、半世紀以上にわたって継承してきた独自技術とノウハウを駆使し、新しく仕入れた工作機械をさまざまにカスタマイズして使用している。時には製品に合わせて工作機械をアレンジすることもあるという。そうした汎用工作機械の「使いこなし力」こそが、高精度で高品質な商品づくりの源になっている。

新機軸

金属からゴムまで
新たな事業展開も

7年ほど前、電子部品メーカーの依頼で初めてゴム素材と金属の同時加工を要する製品開発に乗り出し、成功した。A4大のアルミプレートの中央にゴムを充填し、そのゴム部分に直径0.4ミリの微細な孔を1万2000個も開けるのだ。このプレートは携帯電話のコンデンサの製造ライン用治具として納入。多彩な応用が見込まれるシリコンゴムの孔開け技術については平成23年の夏に特許申請を出願した。

長谷川社長は開発当初を振り返り「金属は専門分野ですがゴムはまったく未知の世界。ゴムの専門メーカーにいろいろ指導を受け、研究を重ねました。孔開けもさることながら一体成型したアルミとゴムを同時に研磨するのが難しく、試行錯誤の連続でした」と話す。

今後の展望

海外も見据えながら
積極的に販路開拓

今後は小型化が進む積層コンデンサの需要拡大に伴い、多種多様なニーズを秘めた国内外の電子部品分野に果敢にアプローチ。投資金額が少なく、小ロット・短納期での対応ができる商品として販路開拓に力を注ぐ。

また、従来の金属切削加工技術をさらに盤石なものにするため、技術者の育成と設備の拡充にも取り組む。そして、アジアを始め海外に向けても独自の精密技術を積極的に広めていきたいと考えた。

COMPANY PROFILE

長谷川精機株式会社

ISO 9001

ISO 14001



昭和21年に創業した当社も私で3代目になります。創業以来、引き継いだ経営方針等は特にないのですが、ずっと守り続けているのは社員全員のチームワークでお客様のニーズに誠心誠意で応えていくこと。そのための人材育成にも力を入れ、社内でのコミュニケーションをよくして、小回りの利く対応を常に心掛けています。

知識・経験・創造力の3つを柱により満足いただける「ものづくり」に励みたい。

代表取締役社長 長谷川 哲さん



■主な事業内容

金属切削部品の加工・製造、組立品完成、製品の設計・開発等

■主な取引先(納入先)

設備メーカー、家電メーカー、精密電子機器メーカー等

住所/〒573-0136
枚方市春日西町
2-27-21
TEL/072-858-8801
FAX/072-859-3224
創業/昭和21年7月
設立/昭和31年4月
資本金/1,800万円
従業員/40名

<http://www.hs-k2.com>